

## セクシュアル・ハラスメント防止委員会

### セクハラと無縁の「健康な」キャンパスづくりを！

セクシュアル・ハラスメント防止委員会(内山哲朗委員長)は、今年2月の委員の交代を経て、新体制になりました。委員会では、セクシュアル・ハラスメントを「本人が意図するとせざるとにかかわらず、相手に性的な言動であると受け取られ、それによって、相手方を不快にしたり脅威や屈辱感を与えたり、また相手方がそこで学び研究し、あるいは働く環境を悪化させる行為」と規定し、セクハラ行為の「被害者にも加害者にもならない」ことをめざして、主に二つの活動に取り組んでおります。

第一に、①パンフレットの配布(学生生活課カウンターをはじめ、学内各所に置かれています)、②防止委員会ホームページを通じた広報、③学内研修会の開催(学生・院生、教員、職員を対象として秋に実施予定)といった「セクハラ防止のための啓発活動」です。第二に、①専用電話・ファクス・メール等による相談受付(防止委員の輪番制により毎日、相談の有無を確認しております)、②「被害者」の保護と「加害者」への厳正な対応、③学生相談室との連携といった「セクハラ防止のための相談活動」です。

全国の大学の事例をみても、セクハラ行為が潜在化したまま「被害者」を人格的に毀損し続ける例がきわめて多いものです。潜在化しやすいことに乗じて、「加害者」は他者への配慮や周囲への想像力を欠いた「不健康な」病的状態を続けていきます。私たち一人ひとりが気づかないうちに「被害者」や「加害者」になってしまうことのないよう、セクハラ行為の芽を早い段階で摘んでおきたいものです。委員会としては、セクハラ行為の除去が「手術」を必要とする段階に至るのを避けるためにも「予防」活動に力を入れて、専修大学をセクシュアル・ハラスメントとは無縁の「健康な」キャンパスにしたいと考えております。

#### ■ 相談受付窓口 ■

##### ▼専用電話・ファクス

044-900-7858

E-mail [sekuhara@acc.senshu-u.ac.jp](mailto:sekuhara@acc.senshu-u.ac.jp)

留守番電話・ファクス・Eメールで被害相談を受け付けています。留守番電話の録音内容・ファクスでの通信内容・メール内容等は、守秘義務のあるセクハラ防止委員しかアクセスできないようになっています。安心してご相談ください。

#### ■ セクシュアル・ハラスメント防止委員 ■

教員委員(50音順)

岩井宜子(法科大学院)  
 内山哲朗(経済学部)  
 巖基珠(ネットワーク情報学部)  
 在間敬子(商学部)  
 中村太一(経営学部)  
 樋口映美(文学部)  
 広瀬崇子(法学部)

職員委員(50音順)

岩崎俊彦(文書課)  
 大林久子(学生生活課)  
 鈴木昌子(育友課)

永見敦子(経理課)

森田隆浩(教務課)

(2006年5月現在)

(委員に直接連絡を取っていただいてもかまいません)

セクシュアル・ハラスメント防止委員会ホームページ

<http://www.senshu-u.ac.jp/sekudara/>

## 第39回青衿祭(せいきんさい)

### 新入生ら1300人 楽しいひと時過ごす

新入生を歓迎する連合県人会主催「第39回青衿祭」が6月3日、東京・新宿区の日本青年館大ホールで行われた。有志によるアトラクション＝写真、「10-FEET」のライブなどが行われ、来場した新入生ら約1300人は大いに楽しんでいた。

150人の実行委員をまとめた宮田昇始実行委員長(経営4)は「例年以上の盛り上がりで、すばらしい「祭り」になりました」と話した。



## 生田キャンパス・アトリウムで

### 専フィル ミニコンサート

29日に「サマーコンサート」開催

専修大学フィルハーモニー管弦楽団のミニコンサートが5月9日、生田キャンパス9号館のアトリウムで行われ、エルガーの「愛の挨拶」などを披露。くつろぎのひと時を演出した＝写真。

6月29日(木)には、川崎市多摩市民館大ホールで「第19回サマーコンサート」が開催される。18時開場、18時30分開演で、ベートーヴェン交響曲第7番ほか2曲を演奏予定。専フィルでは、本公演チケットを300人にプレゼント中。郵便番号、住所、氏名、電話番号、同伴者数を明記し、はがき、Eメールで左記へお申し込みください。6月26日(月)締め切り。



▽はがき＝〒214-8580(専用郵便番号)専修大学庶務課▽Eメール＝ne160199@isc.senshu-u.ac.jp 加藤(ホームページ担当)

※ご連絡いただいた個人情報は発送以外の目的では使用いたしません。

## 《New Ground- 新しい見方&lt;2&gt;》

## 黒門祭（くろもんさい）に行こう

須貝俊之（経営3・ジャーナリズム研究会）

生田キャンパスでは、6月30日から7月2日まで、黒門祭が開催されます。今年で40回目となる黒門祭。その名前にもなっている黒門とは、専修大学のことを指しています。東京大学が「赤門」と呼ばれていることは有名ですが、専修大学にも「黒門」という代名詞があるのです。



▲ 昨年の黒門祭から

この代名詞が専修大学の歴史を示していると言ってもいいでしょう。黒門は明治末まで現在の神田キャンパスの位置にあり、その後、石柱の門に替えられました。その石柱の門の一部は現在も神田キャンパスの傍らに保存されています。

わが大学には、この黒門祭と鳳祭の2つの学園祭があり、黒門祭はより文化色の強い学園祭となっています。今年も学術文化会のサークルをはじめ、多くのサークルが参加します。その内容は、音楽系サークルのミュージックフェスティバルや、美術系サークルの作品展示、サッカー大会に講演会など、実にさまざまな企画があります。

もちろん、我々ジャーナリズム研究会も参加します。恒例となっているキャンパスマガジン「ギルドハウス」の展示・販売をいたします。最新号のVol. 45では、あの有名人のインタビューから驚きの特集記事、そのほか個性あふれる企画が満載です。また、バックナンバーも取り扱います。

黒門祭はそれぞれのサークルの活動を知り、触れることのできる数少ないチャンスです。各サークルともこの日に向けて準備し、頑張って黒門祭を成功させようとしています。黒門祭で有意義な週末を過ごしませんか？ 我々をはじめ参加サークル一同、あなたのご来場を心からお待ちしています。

## 情報科学研究所とネットワーク情報学部

### 「テクノトランスファー in かわさき」に出展

かながわサイエンスパーク(KSP、川崎市高津区)で7月12日から14日に開催される第19回先端技術見本市「テクノトランスファーinかわさき2006」に情報科学研究所(綿貫理明所長)とネットワーク情報学部が共同で初めて出展。昨年度のプロジェクトから「3E Music サーチ」(小林隆教授)、「はにわにわとり」(香山瑞恵助教授)、「Smoodia」(上平崇仁助教授)、「バス混雑情報」(本江渉助教授)のグループが研究成果を披露する(カッコ内は指導教員)。

《マンガ》

専大生の生態



(「漫画研究同好会」による4コマ漫画)